

Love has just begun.

It will be stronger and never die ...

はじめに愛があった。

巻頭特集

大人社会から見た子育て

今日の世の中は、コロナが収まらない中で、物価高・不景気の嵐が吹き荒れる状態にあり、働きざかりの人達の自殺、犯罪、ノイローゼなどの問題があるように見受けられます。

大人社会から見た子育てというテーマで以前機関紙に書きました。青年期・学齢期・少年期・乳幼児期とさかのぼりながら、これを読むことで人生の生き方のヒントを書きました。少しでもこれを参考にして頂ければ幸いです。

理事長 永見 憲吾

受験期・思春期から乳幼児期まで



乳幼児期

- 早寝早起き
- 人を信じるのできる子どもが21世紀を作る
- 「抱っこ」によって蓄えられる力
- トイレトレーニングにも順番がある
- 遊びにも段階がある
- 自立心を育てる
(指示をしない。言葉で伝え自分で考える)
- 言葉について
- 嘘について(大人と子どもではまるで違う)
- 自ら考え判断し、行動できる子どもに



小学校期

- 友だちと学びあう
- 遊びの中から社会のルールを学ぶ

ユダヤ式育児法から学ぶ

- 「他人より優れよ」ではなく「他人より異なれ」
- 「よく聞く」ことより「よく話す」
- 頭の比較は双方を殺すが、個性の比較は双方を生かす
- 就寝前に本を読んでやる(その日の嫌なことはその日で終わらせる)
- 「一生学ばせる」ためには子どものとき十分遊ばせる
- 「友だちを選ぶときは階段を一段上がれ」と教える
- 時間管理を習慣づける
- ユダヤ人は一番に学校をつくる



思春期(第二反抗期)

- 自分探しを求めて
- 自然から学ぶもの
(1)辛抱強さ
(2)目に見えないものに着目(見える物質より見えない心)
(3)苦痛は長く続かない
(4)人生はひたすら前向きに生きるものである
(5)発想の転換
(6)繰り返しの重要性
- きれる子どもを作らない
- 自己暗示の力
- 建設的な言葉、破壊的な言葉(言葉はたましい)



受験期

- 受験とは社会人になるための訓練の場
- 受験は目標達成の訓練の場
勉強が好きか嫌いか(仕事が好きか嫌いか)
好きこそものの上手なれ
- 自分に勝つ=自分との約束と競争
- 「繰り返し」と「継続」
- 没頭する
- 「スランプ」「逆境」は天の恵み
趣味活動も同じ一芸に秀でる者はすべてに通ず
(自信がつく)

F型人間 (失敗型人間)

破壊的・消極的な考え

★自分をダメにする考え(言葉)

「できない」「ダメ」「むずかしい」
自信がない、あがない、すべ
あせる、あわてる
うまくゆかない
どんどんわるくなる
イライラする、腹がたつ
苦しい、つらい、悲しい
暗い、ゆううつ、うじうじ
貧しい、不安、心配

病氣、弱い
きたない、みにくい、プス
きらう、にくむ、うらむ
冷たい、意地悪、いじめる
見下げる、けいべつ、劣等感
「ばか」「まぬけ」「あほう」
灰色、やみ
失望、絶望、不幸、死



S型人間 (成功型人間)

創造的・積極的な考え

★自分をすばらしくする考え(言葉)

「できる」「すばらしい」「やさしい」
自信がある、大丈夫、合格する
落ち着き、冷静
順調にゆく
どんどんよくなる
みちたりている、ゆかいだ
楽しい、うれしい
明るい、ほがらか、さわやか
ゆたか、安心、充実

元気、丈夫、強い
きれいな、かわいい、美しい
愛する、うやまう、仲良くする
暖かい、思いやる、いたわる
みとめる、そんけい、たいせつ
りこう、さすが、頭がよい
みずみずしい、光り、輝く
希望、夢、幸福、生きる

社会で求められる人物像は?(一例として)

- 挨拶ができること(挨拶は人と人の心をつなぐ黄金のことばである)
- 自立していること(指示待ち人間にならない)
- 幼少期に十分愛されてきた人は自信と自立心を持つことができる
- 公私混同をしない(仲良しグループをつくらない/親しき仲にも礼儀あり)
- ポジティブシンキング(マイナス思考は出来ることも不可能にする/プラス思考は不可能なことも可能にする)
- そのためにはどんなことにもネバーギブアップ(忍耐力を持つ)
- 失敗を恐れない
- 自信と熱意を持って行動する
- 責任感の強さは育った環境で決まる(親の性格や価値観がそのまま子どもの性格や価値観を写す鏡になっている)
- 思いやりが信頼関係を育み人間関係をよくする
- よく働き、よく学び、よく遊ぶ(気分転換をする)そのためには頭の切替えをする

1 頭がよければ何でもできるのか?

学歴がある=能力のある人なのか?(勉強の頭の良さ仕事頭の良さは違う)

問題は自分の仕事が好きで、どれだけ没頭することができるか

(日本の学校は記憶力と理解力が中心である。これからの時代は創造力と個性力が必要、つまり他人と異なれ)

2 素直な人は「自分の価値基準を持っている人」

自分の価値基準を持っている人は、頭が柔軟で相手の価値観を受け入れることのできる人

3 論理的思考能力のある人

4 自分の考えを相手に伝え、相手の考えを聞くことのできるコミュニケーション能力のある人

5 シミュレーション能力のある人

段取りの良い人はシミュレーション能力が高いから、問題が起きる可能性を頭の中で予測して行動する。結果、常に先手を打つことができ、問題を回避することができる

6 会社で有能でない人が、家庭の子育てに有能であるだろうか

7 仕事のできない人は人を指導することはできない

8 「仕事が遅い」はできない人の代名詞

9 「スタートさせるまでの速さ」が処理能力を測る目安



これまでは人生の流れの中でのものの見方、考え方を記しましたが成功する発想という限定の中で考えてみますと下記のようになります。

◆ 成功する発想

「成功する人は、成功は旅であると考え、失敗する人は、成功は到着地であるとする」つまり目標設定を常に持ち到達したらまた新しい目標をかかげ旅をするように行動する。

◆ 人生の成功条件

- (1)目的を持ち学び続けること
- (2)多くの知人・友人・人脈を持つこと
 - ロマメ(電話)
 - 手マメ(手紙)
 - 足マメ(訪問)
- (3)厚遇サービス精神を持つこと
- (4)普段の心掛け
 - 早寝早起き
 - 健康のため何か毎日実行しましょう
 - 挨拶ははっきりしましょう
 - 整理・整頓・後始末
 - 笑顔をたやさないようにしましょう

この(1)~(4)までは掛け算ですから全部できなければ0になります。

◆ 100万ドルの成功計画5則

- (1)心に描いた夢は必ず実現する
- (2)心を鮮明に結晶化しよう
- (3)目標を達成するための計画を立てること、その達成期日を設定しよう
- (4)心に描いた人生の夢に、真剣に欲望を燃やそう
- (5)能力に対して、やれるのだという大いなる自信をもとう

◆ 条件づけの恐ろしさ

- 人生と条件反射
- 環境による条件づけ
- 経験による条件づけ

◆ 心構えと習慣の威力

無限の人生は心構えを変えることから始まる

◆ 目標設定こそ成功の鍵

- 目標に方向を与える
- 目標が人間を成長させる
- 目標を鮮明に描き、先取りする
- 自分の目標に対して積極的に語りかける

◆ 自分の行動計画をたてよ(短期・中期・長期)

- 成功人生への案内図
- 人生の6分野を理解する(6分野とは、人生は健康面、社会生活面、教養面、精神面、経済面、家庭生活面に分類できるということです)
成功するとは、大金持ちになる、地位や名誉があるなどのことをいうのではなく自分の夢をバランスよく身につけ生きがいのある人生を送るための考え方です。

